

広報



うらやす

主な内容

新浦安駅北口バスベイの運用が開始されました ほか 8面

発行／浦安市
所在／〒279-8501 千葉県浦安市 猫実一丁目1番1号
編集／企画部広聴広報課
☎047-351・1111(代表)
<https://www.city.urayasu.lg.jp>

市の人口と世帯 人口=171,950人(-79) 男=83,039人(-24) 女=88,911人(-55) 世帯数=88,653世帯(-33) 令和8年8月末現在()は前月比

各記事に掲載しているIDを市ホームページの「広報ページID検索」に入力すると、該当のページが出ます。これにより、記事を探す手間を省けます

木森林のないうらやすから、森林を守る取り組み

森林環境譲与税で進めています

浦安市には森林がありません。しかし、そんな浦安市に暮らす私たちも、森林からさまざまな恵みを受けています。

浦安市では、森林がある地域と連携し、森林の整備や木材利用の推進、普及啓発など、森林を守る取り組みを進めています。その取り組みに活用しているのが「森林環境譲与税」です。

今回は、浦安市の主な取り組みと森林環境譲与税について紹介します。

問 環境保全課 ☎352・6481



浦安市が進める／ 森林を守る取り組み

浦安市では、千葉県山武市や群馬県高崎市の烏川流域森林組合と協定を締結し、森林整備や木材利用の推進、普及啓発など、森林を守るための取り組みを進めています。

浦安市と山武市との連携事業

浦安市と山武市は、令和4年3月に、「浦安市と山武市の連携による森林整備の実施に係る協定」を締結し、次のような事業を実施しています。



認証書を持つ内田市長と山武市の小野崎市長（令和8年7月2日）

▲カーボン・オフセット事業

ID 1042736

山武市の森林整備にかかる費用の一部を浦安市が負担しています。令和7年度は、1.97haに植栽し、3.43haの間伐を行いました。

この森林整備によって得られた二酸化炭素吸収量について、千葉県が実施している「美しいちばの森林づくり・森林整備によるCO₂吸収量認証制度」による認証を受けています。

令和8年6月26日付けで、令和8年度分のCO₂吸収量として213.4t-CO₂が認証されました。

カーボン・オフセットとは

自分の温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部または一部をほかの場所での排出削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）することをいいます。

（出典：平成26年度カーボン・オフセットリポート）

▲木材製品の調達

森林整備によって発生した木材を利用した木製の折り紙と定規を調達し、折り紙を1歳6カ月児健康診査時に、定規を市内幼稚園・こども園・保育園の卒園記念品として配付しています。また、今年はブックスタンドを調達し、中央図書館で使用しています。



▲森林環境学習

山武市の日向の森において、市民を対象に林業や森林の役割について学習する事業を実施しています。



高崎市市有林「浦安市民水源の森」活用に関する烏川流域森林組合との連携事業

ふだん私たちが利用している水道水は江戸川の水が基になっています。その江戸川の水源に当たるのが、群馬県高崎市倉洲町にある森林です。この森から流れ出た水が、烏川を経て江戸川に合流しています。この「江戸川の上流と下流とのつながり」から、平成18年1月に高崎市との間に協定を締結し、高崎市市有林に「浦安市民水源の森」を設置して、林間学校や自然体験講座などで活用してきました。

今後も環境学習の場として「浦安市民水源の森」を積極的に活用していくため、令和5年8月に、高崎市から森林の管理を任されている烏川流域森林組合と協定を締結し、次のような取り組みを行っています。

▲森林の整備

「浦安市民水源の森」の活用を促進するため、森林の環境整備を行っています。



▲森林環境学習



森林整備体験や自然体験などをとおして、自然環境の大切さなどを伝える環境学習を実施しています。

8月7日、まちづくり活動プラザで行われた、「うらやす市民大学公開講座 浦安市民水源の森～森のかけらのお守りづくり～」も、この事業の一つです。この講座では、烏川流域森林組合の方を講師に招き、高崎市と浦安市を流れる河川との関係や森林の役割などの話を聞いた後、高崎市の森林から切り出されたスギやヒノキの間伐材を使ったお守りを作ったりしました。



しおり



スタンプカード

森林を守る取り組みに活用！／ 森林環境譲与税

先に紹介した、山武市や烏川流域森林組合と連携して進めている取り組みに活用しているのが「森林環境譲与税」です。

Q. 森林環境譲与税って？ ID 1031550

A. 国内に住所のある人が、一人年額1000円払っている「森林環境税」を財源として、国が都道府県や市町村に配るお金が「森林環境譲与税」です。

森林環境譲与税は法律によって用途が決められており、森林の整備に関する施策やその促進に関する施策の費用に充てなければならないとされています。

浦安市でも、森林環境譲与税の活用に向けた基本方針を定め、法律に則った活用をしています。

令和6年度は、約1900万円を、浦安市と山武市の連携による森林整備の実施に係る協定負担金、高崎市市有林「浦安市民水源の森」活用に関する協定負担金、千葉県森林経営管理協議会負担金、浦安市森林環境譲与税基金への積み立てに使用しました。各事業の内訳や金額など、詳しくは、市ホームページをご覧ください。

Q. 浦安市には森林がないのに、なぜ負担するの？

A. 浦安市のような都市部に暮らす人々も含め、国民一人ひとりが森林のもたらすさまざまな恩恵を受けています。そのため、森林の整備に関する費用を国民全体で負担しようというものです。

森林は木材の生産のほかに、次のようなさまざまな機能を持っています。



私たちにもできる／ 森林を守る一歩

森林を守ることは、森林のある地域だけの問題ではありません。森林のない浦安に住んでいる私たちにも、森林を守るためにできることがあります。

▲国産木材や間伐材を使用した木材製品を選ぶ

間伐材とは、間伐の作業を行った際に伐採される木材のことです。森林整備は木を植えるだけでは成り立ちません。植えた木が成長してくると森林の中が混み合い、枝葉を広げることが難しくなったり、森林の中の日当たりが悪くなったりして、木々がお互いに成長を阻害してしまいます。間伐をすることで、森林の中により多く光が当たり、残った木や下草が健全に成長できるようになります。間伐は、健全な森林環境を保ち、森林の持つさまざまな機能を発揮するための大切な作業です。

間伐材は、木材製品に利用されるものと、山の中にそのまま切り捨てて残されるものがあります。大切な資源を無駄にしないためにも、間伐材を使用した木材製品を積極的に利用し、資源を循環させていくことが必要です。

ご存じですか？ 間伐材マーク

間伐材を使用した木材製品を見つける目印として、「間伐材マーク」があります。このマークが付いている製品は、全国森林組合連合会が設置する間伐材マーク認定委員会の認証を受けています。全国森林組合連合会間伐材マーク事務局のホームページ<https://www.zenmori.org/kanbatsu/>には、間伐材マーク認定製品が紹介されていますので、木材製品を探す際の参考にしてください。

▲森林環境学習に参加して、木に触れる機会や、森林について学ぶ機会をつくる

木に触れ、森林について学ぶことで、森林の大切さに気付き、森林を守る行動につながります。市では、山武市や高崎市で、森林整備体験や自然体験などができる環境学習事業を11月に実施します。この機会にぜひご参加ください。



一人ひとりにできることは小さな一歩かもしれませんが、そうした小さな一歩一歩が、森林の未来につながっています。できることから始めてみませんか。